



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

平成 29 年 1 2 月 号

平成 29 年 1 2 月 1 日

さいたま市立下落合小学校

電 話 8 5 2 - 2 2 8 0

F A X 8 5 2 - 0 1 8 8

「聞く」の意味を一つ追加

校長 稲垣克行



校内音楽会 6年生

11月11日(土)校内音楽会では、多くの保護者や地域の方々に、子どもたちの成長と一生懸命な姿をご覧いただける機会となりました。6年生にとっては、6年間の最後の大きな行事です。「YELL」、「シング・シング・シング」は思い出に残る演奏となったことでしょう。

また、午後のふれあい広場2017では、PTAが中心となって、子どもたちへ楽しく遊び、様々な体験の場を準備していただきました。PTAの皆さん、地域の方々に感謝いたします。

さて、式亭三馬の「浮世床」(江戸時代の滑稽

本)の中に、「聞く」ということについて、こんな会話が載っていました。

床屋に現れた本読みの先生が「香(かおり)は聞くという」と学(がく)のあるところを披露します。すると、その場にいた床屋と男がすかさず、

男：「香は鼻で嗅(か)ぐだろう」

床屋：「そうさ。耳で嗅ぐわけがないよ」

男：「耳で聞くものなら、聞くといってもいいが、鼻だから嗅ぐほうがいいだろうよ」

床屋：「そうだよ。鼻で聞いて、耳で嗅ぐなら、目がものを言って、口で見物だよ」

とばかにします。本読みの先生は、たじたじです。

辞書で「聞く」に「嗅(か)ぐ」の意味があるのかと調べてみると、「聞く(利く：ともかく)」には、「物事をためし調べる」という意味があるようです。例えば「聞き酒(利き酒)」は、「酒をためし調べる」ですね。学ぶことは、まず聞くことからといわれます。耳に入ってくるものに、耳を傾けるだけではなく、「ためして調べること」も学びに入れたいものです。子どもたちの活躍を期待しています。

＜避難訓練を行いました＞

11月29日(水)中央区消防署の隊員を招いて、地震と地震による火災を想定し、避難訓練を行いました。そして消防署のご協力で起震車で地震体験、煙体験、消火器の使用を学びました。災害はいつ起こるかわかりません。御家庭でも災害時の連絡方法、安全確保について話題にいただければと思います。

